

分散剤

液体中に分散しにくい無機、有機顔料などの固体粒子を均一に分散させて、安定な懸濁液を作るために加えられる第三成分をいいます。分散剤としては分子内に疎水基と親水基の相反する性質を持った界面活性剤があります。例えば、水にすすなどの固体粒子を混ぜた場合、その界面には表面（界面）張力が働き粒子同士が集まって分離しますが、界面活性剤を加えておくと表面（界面）張力が小さくなり、固体粒子表面上の液体のぬれ性が上がり、沈降や凝集を防止し、安定な分散液を形成します。

（竹内）

(C) 2004 筑波微粒子・界面・環境研究会, All rights reserved